

2019年3月12日

報道関係者各位

エアロセンス 株式会社

**若築建設株式会社、AEROBO 測量 2.0 を導入**  
**“高低差 50m・30ha・高圧電線あり“の大規模造成でも点群精度±3cm を実現**

この度、エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下エアロセンス）が開発・製造・販売している AEROBO® Marker（エアロボマーカー：GPS 搭載対空標識）を活用した AEROBO®測量 2.0（AEROBO®（産業用日本製ドローン）、AEROBO®マーカー、AEROBO®クラウド（高速データ処理クラウドソフト）のパッケージサービス）が、若築建設株式会社（東京都目黒区、代表取締役社長：五百蔵良平、以下若築建設）の大規模造成現場において、採用されました。

若築建設では、これまで実施が困難と考えられてきた、高低差や空撮エリアに高圧電線等がある大規模な造成現場において、AEROBO マーカーを活用した AEROBO 測量 2.0 を用いて起工測量を実施し、高精度の 3次元データの作成に成功し、現場の ICT 施工工事に活用しています。詳細は、下記 URL をご参照ください。

<https://media.aerosense.co.jp/case-0046>

<約 2 日半で 30ha の大規模造成現場の UAV 測量を完了>



AEROBO®（エアロボ）はエアロセンス株式会社の登録商標です。

【お問い合わせ先】エアロセンス株式会社 ([www.aerosense.co.jp](http://www.aerosense.co.jp))

東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号

TEL: 03-3868-2551、Email: [contactus@aerosense.co.jp](mailto:contactus@aerosense.co.jp)